

夏の夜空を華やかに彩る

宮崎おん祭り・吉良花火大会

宮崎おん祭りと第27回吉良花火大会が7月25日、宮崎漁港周辺で行われました。宮崎おん祭りでは、担ぎ手の若者たちの「ワッショイ！ ワッショイ！」の掛け声と共に、全長9m、重さ約900kgの大鯛みこしが海岸道路を勇壮に練り歩きました。花火大会では、大迫力のスターマインをはじめ、メッセージ花火や仕掛け花火など、約1,700発の打ち上げ花火があがり、夜空に色とりどりの大輪が咲くたびに、約23,000人の見物客から大きな歓声が聞こえてきました。



うたが咲いています

由紀さおり・安田祥子ファミリーコンサート

由紀さおり・安田祥子ファミリーコンサートが8月8日、文化会館大ホールで行われました。「ぞうさん」「肩たたき」といった童謡から「故郷」「夏の思い出」といった唱歌まで、多種多彩な歌を姉妹のハーモニーと豊かな歌唱力で表現していました。コンサートの後段では平坂中学校合唱部の生徒と福地南部小学校合唱クラブの児童と共に「ソレアード～子供たちが生まれる時～」を熱唱。アンコールでは「見上げてごらん夜の星を」を歌い、観客から大きな拍手が送られていました。



幡豆でいちばん熱い夏！！

は ずストーンカップチャレンジレース



第19回はずストーンカップチャレンジレース2015が8月9日、東幡豆港で開催されました。真夏の太陽の下、初出場16チームを含む63チームが参加。タイムを競う部門レースや着順を争うスプリントレースで熱戦が繰り広げられました。自作のいかだに乗った選手たちはいち早くゴールを目指し、幡豆の海を疾走。水しぶきを上げながらガムシャラに漕ぐ選手たちへ、海岸から大きな声援が送られていました。表彰式では、優勝したチームは贈呈されたストーンカップを空高く掲げ、歓喜に沸いていました。

わくわく！ ドキドキ！

子ども大学講座 サバイバル防災体験



8月1日、一色地域文化広場で「わくわく！ ドキドキ！ サバイバル防災体験」の行事が行われ、7組の親子が参加しました。三河地震や伊勢湾台風について学んだ後、空き缶やアルミホイルなどを利用して製作した簡易コンロで湯を沸かし「ポリ袋で作るご飯」を体験しました。また、普段はベンチとして使用され、いざという時にはかまどに早変わりする「防災かまどベンチ」を使い「ちゃんちゃん焼き」も作りました。マッチを擦る体験では、初めて体験する子もあり、火を扱うことに緊張しながらも、上手につけていました。



城下町の夏を彩る

西尾祇園祭



六万石城郭城下町の祭典、西尾祇園祭が7月18日・19日の2日間、名鉄西尾駅西側一帯などで開かれ、延べ約20万人が訪れました。18日には、12年ぶりに復活した本町旦那衆の「手踊り」などが伊文神社で神前奉納され、獅子舞や中町大屋形、伊文神社みこしなどが盛大に市街地を練り歩きました。19日には、第21回市民総踊り「踊ろっ茶・西尾!!」に1,350人が参加し「西尾小唄06」に合わせて、エネルギーなパフォーマンスが披露されました。会場全体が活気に満ちあふれ、祭りの盛り上がりは最高潮に達していました。



おいしいランチを作ったよ

ちびっ子サマースクール

ちびっ子サマースクール「おいしいランチ作り」が8月6日、幡豆いきいきセンターで開催されました。学校では学べないことを子どもたちだけで体験するもので、小学1～4年生19人が参加。講師の指導の下、ハムエッグやツナをごはんで挟んで2種類の「おにぎらず」を作ったり、包丁を上手にを使ってウインナーをタコや自動車などの形に飾り切りしたりと、終始ワイワイと楽しく調理していました。ランチが完成すると早速試食。子どもたちは口々に「おいしい」と、その出来栄に満足そうでした。



吉良消防団が出場

第60回愛知県消防操法大会



消防団の消防技術を競う第60回愛知県消防操法大会が8月8日、豊川市の音羽運動公園で行われました。県内の消防団がポンプ車操法の部に23団、小型ポンプ操法の部に14団出場し、市からは吉良消防団がポンプ車操法の部に出場しました。焼けつくような日差しの中、約半年におよぶ訓練の成果を披露しようと、一糸乱れぬ団結力で大会に挑みましたが、本領を発揮できず入賞を逃しました。しかし、随所に伝統ある吉良消防団の動きが見られ、観客からは「放水する姿勢がきれいだ」など、称賛の声が聞かれました。